

早期景気観測調査

【8-9 月期 調査結果概要報告書】

令和3年 10 月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和3年9月14日(火)～9月30日(木)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 81件
7. 有効回答率： 61.4%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6-7月期の動き】

全体業況は▲35.8と、前期と比べて27ポイント減の大幅な悪化。向こう3ヶ月の業況は改善の見通しであり、規制緩和による経済活動の再開を期待する企業が多数。

8-9月期の全業種総合の業況DIは、まん延防止等重点措置が適用されたこともあり、**▲35.8**（前期比27ポイント減）と大幅に悪化した。

向こう3ヶ月の先行き業況は改善する見通しであり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されたことによる経済活動の再開に期待する企業が多数。

業種別では、全ての業種で悪化となった。

製造業の業況DIは**▲15.8**（前期比38.5ポイント減）と2期連続の悪化となった。

○改善⇒仕入単価DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

建設業の業況DIは**▲46.7**（前期比9.2ポイント減）と2期連続の悪化となった。

○改善⇒採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDI ○悪化⇒売上DI、従業員DI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは**▲37.5**（前期比37.5ポイント減）と2期連続の悪化となった。

○改善⇒仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDI ○悪化⇒売上DI、採算DI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況DIは**▲52.6**（前期比24.8ポイント減）と2期連続の悪化となった。

○改善⇒仕入単価DI、従業員DI ○悪化⇒売上DI、採算DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

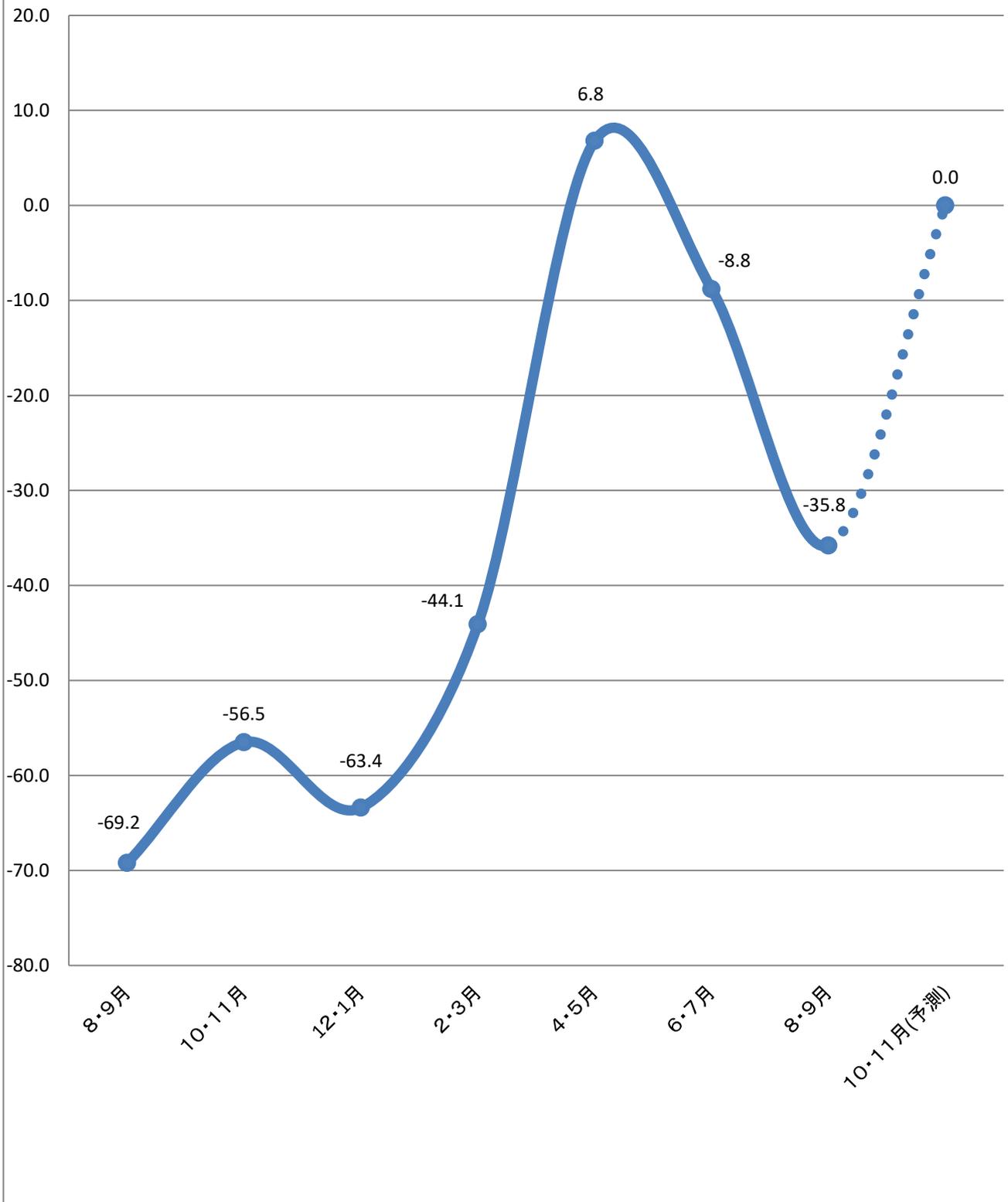
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは**▲25.0**（前期比11.7ポイント減）と5期ぶり悪化となった。

○改善⇒従業員DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDI

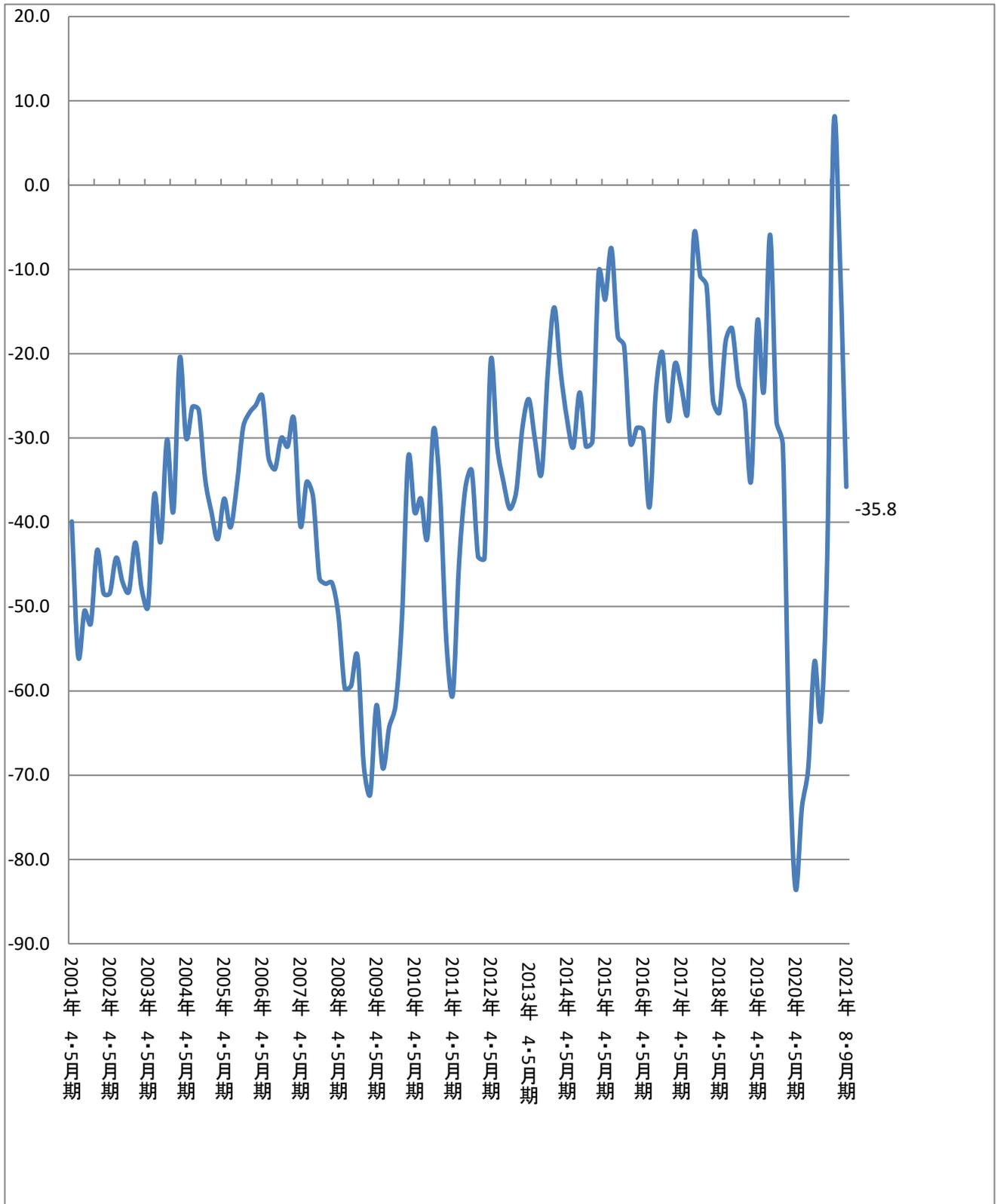
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2021年8・9月期)

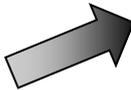


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

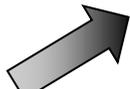
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲35. 8	0. 0	▲25. 9	▲42. 0	▲42. 0	11. 1	▲1. 2

8－9月期の全業種総合の業況D I は、▲35. 8（前期比27ポイント減）と2期連続の悪化となった。

項目別

○今期より改善⇒仕入単価D I（▲52. 7→▲42. 0）、従業員D I（2. 2→11. 1）

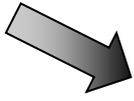
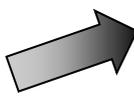
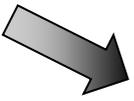
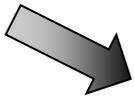
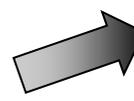
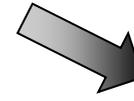
○2期連続悪化⇒売上D I（1. 1→▲25. 9）、採算D I（▲18. 7→▲42. 0）

○今期より悪化⇒金融貸出しD I（▲1. 1→▲1. 2）

向こう3ヶ月の先行き業況は、0. 0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲15.8	5.3	5.3	▲5.3	▲31.6	0.0	▲5.3

業況D Iは▲15.8（前期比38.5ポイント減）と2期連続の悪化となった。

項目別

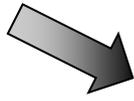
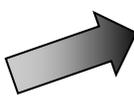
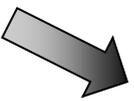
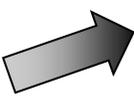
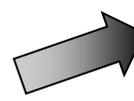
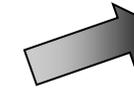
○今期より改善⇒仕入単価D I（▲59.1→▲31.6）

○2期連続悪化⇒売上D I（31.8→5.3）、採算D I（22.7→▲5.3）

○今期より悪化⇒従業員D I（4.5→0.0）、金融貸出しD I（0.0→▲5.3）

向こう3ヶ月の業況は、5.3と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲46.7	▲13.3	▲53.3	▲46.7	▲80.0	20.0	0.0

業況D Iは▲46.7（前期比9.2ポイント減）と2期連続の悪化となった。

項目別

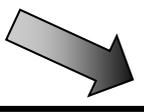
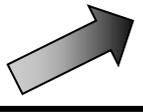
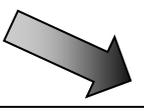
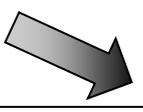
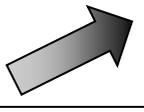
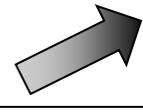
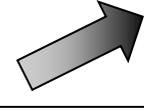
○今期より改善⇒採算D I（▲56.3→▲46.7）、仕入単価D I（▲87.5→▲80.0）、
金融貸出しD I（▲6.3→0.0）

○2期連続悪化⇒売上D I（▲31.3→▲53.3）

○今期より悪化⇒従業員D I（25.0→20.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲13.3と改善する見通し。

卸売業

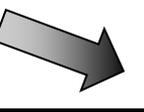
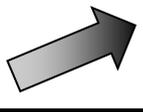
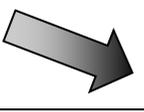
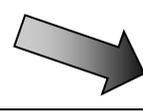
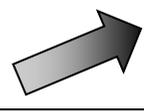
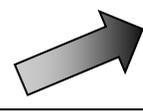
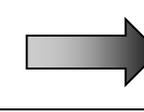
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲37.5	▲18.8	▲25.0	▲62.5	▲43.8	31.3	6.3

業況D Iは▲37.5（前期比37.5ポイント減）と2期連続の悪化となった。

項目別

- 2期連続改善⇒金融貸出しD I（5.0→6.3）
 - 今期より改善⇒仕入単価D I（▲55.0→▲43.8）、従業員D I（0.0→31.3）
 - 2期連続悪化⇒採算D I（▲20.0→▲62.5）
 - 今期より悪化⇒売上D I（40.0→▲25.0）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲18.8と改善する見通し。

小売業

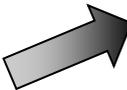
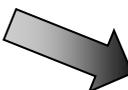
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲52.6	15.8	▲42.1	▲57.9	▲21.1	10.5	0.0

業況D Iは、▲52.6（前期比24.8ポイント減）と2期連続の悪化となった。

項目別

- 今期より改善⇒仕入単価D I（▲33.3→▲21.1）、従業員D I（0.0→10.5）
 - 2期連続悪化⇒売上D I（▲38.9→▲42.1）、採算D I（▲22.2→▲57.9）
 - 2期連続横ばい⇒金融貸出しD I（0.0→0.0）
- 向こう3ヶ月の業況は、15.8と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲25.0	8.3	▲16.7	▲41.7	▲41.7	▲8.3	▲8.3

業況D Iは▲25.0（前期比11.7ポイント減）と5期ぶりの悪化となった。

項目別

○今期より改善⇒従業員D I（▲20.0→▲8.3）

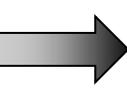
○2期連続悪化⇒売上D I（▲13.3→▲16.7）、採算D I（▲33.3→▲41.7）、
金融貸出しD I（▲6.7→▲8.3）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲26.7→▲41.7）

向こう3ヶ月の業況は、8.3と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

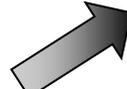
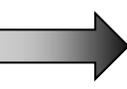
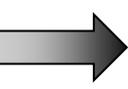
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

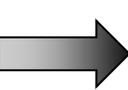
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

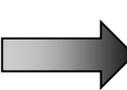
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

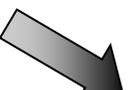
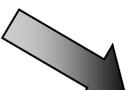
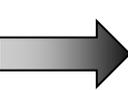
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

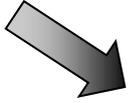
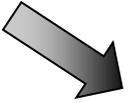
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

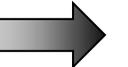
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

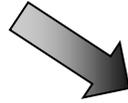
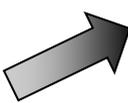
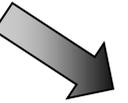
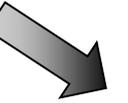
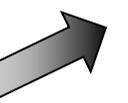
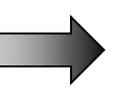
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

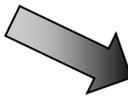
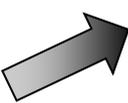
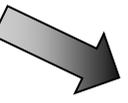
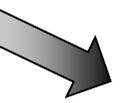
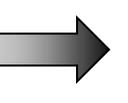
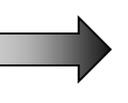
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

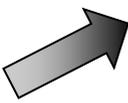
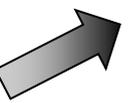
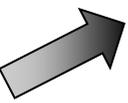
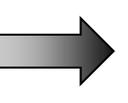
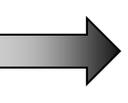
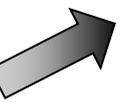
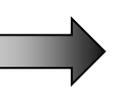
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

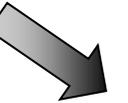
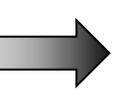
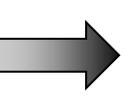
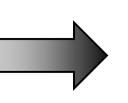
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

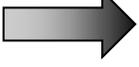
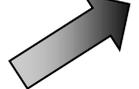
小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

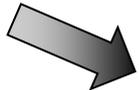
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

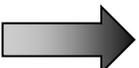
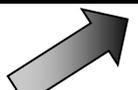
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

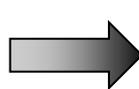
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・8、9月は主要都市での長期的な緊急事態宣言により業況は低迷。回復傾向も休止した状況。

製造業（宝飾）

- ・業況の不透明さから、よりB to Cへの動きが増えていくと予想される。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・8月はまん延防止等重点措置の影響により低迷したが、9月は措置解除だけでなく天候不順などにより青果物が高騰。
- ・巣ごもり需要におけるスーパー、ドラッグストアへの小売菓子が堅調に推移。コロナ禍のコスト削減効果もあり、利益は改善傾向。

卸売業（その他）

- ・外国のロックダウンによって、取扱商品の納期に遅れや見通しの立たないものが出てきている。

【建設業】

建設業（建築）

- ・コロナによる直接の影響はないが、設備投資計画の延期・中止が徐々に増えてきた感はある。

建設業（土木）

- ・コロナの影響により、資材の高騰や納期遅延等で工事期間が延長となり、最終工事金回収の予定が立たない。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・売上高も利益も昨年並みを確保できているが、10月から最低賃金のアップがあるため、パート従業員の多い小売業としては、今後の経費削減が課題となる。
- ・都心の緊急事態宣言に加え、本県のまん延防止への対策による時短営業等により、状況が良くなかった昨年と同じぐらいの売上となった。

小売業（趣味・日用品）

- ・昨年同期は「コロナ明け」感のあった時期でもあり、今期と比べると悪化傾向や先行き不透明感が増している。
- ・原油、ナフサの高騰により、多くの商品の仕入れ価格が上昇している。

【サービス業】

サービス業（観光）

- ・10月以降の行動制限緩和による経済流通に期待。

以上